

鈴木工業株式会社

かわら版

「仕事」「人生」そして「環境」



発行元：鈴木工業㈱
2025年4月 第57号

「こんにちはは鈴木工業です」
新年度がスタートしました。鈴木工業グループの今年度のスローガンは「躍進」です。新処理施設アネックスの本格稼働も始まり、多くの課題、挑戦が待っていると思いますが、一つひとつみんながアイディアを出しながら乗り越えて行けたらと、気持ち新たにしております。今回のかわら版も文字多め、一気に読んでいただければ幸いです。少しづつお読みください。

かわら版編集部一同


※実はひっそりサインタグラム始めました。ご興味のある方はフォローお願いします。

鈴木工業 はこんな会社です

令和7年度第一回社内研修会開催
2025年4月12日(土)

新年度の始まりにあたり、鈴木工業及びグループ会社の研修会を実施し、各部・グループ会社の事業計画等を確認いたしました。この研修を機に、新たな気持ちで目標達成に向け、より一層邁進してまいります。

- ・社長訓示
- ・昇任昇格異動者辞令交付・昇格者決意表明
- ・社内表彰（資格取得者・改善提案）
- ・令和7年度事業計画発表
- ・IMS 報告と連絡事項・60周年事業について



長く続いたSDGs特集が終了し、さて何を書こうかと考えたタイミンが開幕！これは調べねばというところで、今回から万博の環境への取り組みについてご紹介いたします。

・リニューアルマッチング

万博閉会后、建築物やアート、建材、設備、什器、備品、資源の有効性を図り、サステナブルな万博運営を実現するための取り組みです。リサイクルの取組も万博事務局から入札やオークションの申し込みが開始されています。万博会場で使用したプラズマシートや、プラズマシートを再利用した紙製容器は、会場内で使用されています。

環境トピックス
大阪・関西万博編

皆さんは名言コレクターという言葉をご存知でしょうか。名言コレクターとは、時代や国境を越えて語り継がれる力強い言葉を集め、それを通じて自身の知識や感性を豊かにする素晴らしい趣味です。名言の魅力は、短い言葉の中に深い意味や教訓が凝縮されていることにあります。では、いくつかの名言を紹介してみます。

「あなたができると思えばできる。できないと思えばできない。そのどちらもあなたが正しい。」
ヘンリー・フォード

自己信念の力を語った名言で、物事に挑む際の心構えを示しています。

「昨日から学び、今日を生き、明日へ期待を持とう。」
アインシュタイン

毎日全力で生きる事の大切さを感じさせる言葉です。


「あきらめたらそこで試合終了ですよ...?」
安西先生

何事も最後まで諦めないことの重要性を『SLAM DUNK』教えてくれる名言です。こうした名言たちは、名言コレクターの心に響き、またその活動を支える燃料のような存在です。もし、皆さんがご存じの名言があれば、ぜひ営業部 K にお知らせください！

防災訓練を行いました


2025.3.7(金)

地震、火災、労働災害といった複合的な災害を想定した消防訓練を実施いたしました。従業員ひとり一人が、緊急時における適切な行動と安全確保の手順を再確認し、防災意識の向上を図りました。今後も安全な職場環境づくりに努めてまいります。



健康経営優良法人2025

今年度も、健康経営優良法人としての認定を受けました。お客様に安全かつより良い品質でサービスをお届けするため、従業員の心身の健康が不可欠であると考えております。そのため、定期的な社内研修会における安全意識の向上や、健康診断の充実、働きやすい環境づくりなどに注力してまいりました。今後も従業員の健康を第一に考え、より一層お客様にご満足いただけるサービスを提供できるよう努めて参ります。



「あきらめたらそこで試合終了ですよ...?」
安西先生

何事も最後まで諦めないことの重要性を『SLAM DUNK』教えてくれる名言です。こうした名言たちは、名言コレクターの心に響き、またその活動を支える燃料のような存在です。もし、皆さんがご存じの名言があれば、ぜひ営業部 K にお知らせください！

新処理施設 鈴木工業株式会社 アネックス エコミュージアム21 Annex

【あっくん】 こんにちは。3月3日アネックスの竣工式を行いました。

【すーちゃん】 当日は風の強い寒い日でしたが、工事関係者やご協力いただいた方々にお集まりいただき、無事に完成したことへの感謝をお伝えするとともに、今後の操業の安全を祈願しました。

【あっくん】 これで安心して本格稼働できるね。

【すーちゃん】 竣工式に先立って、2月に社員向けの説明会、見学会も行いました。

【あっくん】 あらためて「乾溜ガス化炉とは」や、「アネックスとエコミュージアム21との違い」などの基本的なところから説明してもらって、実際に現場を見学できたから、とっても勉強になったよ。

【すーちゃん】 普段めったに現場に行かない事務の方やグループ会社のみなさんにも、稼働してからでは見れないような場所も見学してもらえたので、よりアネックスを身近に感じたんじゃないかしら。これからのアネックスがますます楽しみになってきたわね。

【すーちゃん】 現在、順調に稼働中のアネックス。次回は現場で作業を担当しているみなさんに、稼働状況や作業の様子などをインタビューします！





営業
B
U
Z
Z

どうもみなさんこんにちわ、 鈴木工業歴史探訪倶楽部です



いよいよ！最終章、今回は最後に海防の重要性を説いた仙台藩士 林子平という人物が登場しました、今回はその林子平についてちょっと深掘りしてみましょう…。

子平は二十歳の時に兄とともに仙台に移り住みましたが、仙台藩の仕事につくことができたのは兄だけでした。いわゆる「部屋住み」であった子平ですが、藩のために尽くしたいという思いから、藩を

豊かにするための研究に取り組みます。良い政治を行っている藩があると聞けば遠く九州まで調べに行くこともありました。子平は藩へ経済政策や教育政策を上申しますが、採用されることはなかったそうです。

そんな折、子平は東北を旅している際にロシアが日本をわらっているという噂を耳にします。情報の真偽が分からないため、子平は当時唯一の海外と接触ができる場所、長崎の出島に赴き、禁止された外国人との接触を試み、ロシアが蝦夷地（現在の北海道）を標的としていることを聞き出しました。子平は長崎から帰るとこれまで読んだ書や国中を旅し集めた情報をもとに「三国通覧図説」「海国兵談」を制作します。「三国通覧図説」は鎖国下にあった当時の日本で周辺諸国について知ることが肝要であることを示し、当時西洋各国でも翻訳されていたそうです。「海国兵談」は海外の脅威から日本を守るための海防軍備の必要性を説いたもので、これには象山の記した「海防八策」にも共通する大船を建造し大砲を備えるべきことを述べています。幕末期随一の天才と言われる佐久間象山をしてようやくと辿り着いた海防の重要性に、はるか昔の仙台藩士がすでに至っていたとは何だか誇らしい気持ちになります。

しかしながらこの「海防兵談」は幕府の軍備を批判し、また人心を惑わすとして禁書扱いとなり、子平自身も一時は江戸で牢獄に入れられてしまいます。後には仙台に戻ることが許されるものの蟄居という形で自由は許されず 1793 年 56 歳、失意の中でその生涯に幕を降ろします。しかし子平が書き著したこれらの書は 19 世紀に入ると実際に江戸湾の海防強化政策の一端として幕府により採用されるなど、幕末海防論の起点となり近代日本の富国強兵論に影響を及ぼしたのでした。子平は罪人として死を迎えたため墓碑を建てることを許されませんでした。後に許され 1842 年に親族によって現在の仙台市龍雲院に墓碑が建てられ、現在ではこの辺りは子平町という名前が付けられています。墓碑以外にも勾当台公園に銅像があり、仙台市博物館では子平を紹介する一角があるそうです。時代、状況が違えば松陰や象山のように神格化され神社が建立されてもおかしくない人であったかもしれず、少し残念ではありますが、それでも町名としてその名を残せたのは後の人の子平への想いを感じ受けます。

国を想い動いた者が時期として早すぎるが故に報われないことは特にこの時代では多くあったでしょう。しかしそれは決して無駄ではなく、後の者に継がれて形を成したと言えるのではないのでしょうか。ご紹介した3人は自身の使命と定めたところへ、ともすれば周囲から狂人と捉えかねないほどの熱意をもって人生を駆け抜けた方々だと思います。吉田松陰の記した書中に「狂愚まことに愛すべし」という、まさに彼らのような人を指した言葉がありますが、私自身この言葉に痛感するところがあり、大それたことができるわけではないにせよ、少しでもこの言葉に沿う者でありたいと思うところです。



こんにちは、
業務部のロック好きの Y 田です
2022 年 10 月号に掲載した「おすすめの CD アルバム」という音楽レビュー記事が (ごく一部の方に) 好評だった為第 2 弾として「世界のロック」をテーマに、色んな国の音楽を紹介していこうと思います。(アーティスト名 / アルバムタイトル / 出身国)

- C.C.R / CHRONICLE / アメリカ
歯切れの良いサウンドにコグのある歌声。南部の土が香るようなロックンロール。名曲「雨を見たかい」は、一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか？
- Dr. Feelgood / Down By The Jetty / イギリス
「パブ・ロック」という名の通り、パブやナイトクラブで繰り広げた熱い演奏は当時の若い労働階級を激しく踊らせた。パンクロックの祖先とも呼ばれています。
- BO GUMBOS / BO&GUMBO / 日本
我が日本からはボ・ガンボスの登場です。ゴキゲンなロックンロールサウンドは、若若男女楽しめること請け合いです。ドライブのお供に最高なんですよコレ。
- Neu! / Neu! 75 / ドイツ
ノイ!の生み出した反復ビートは、後の音楽に多大な影響をもたらした。…なんてごたくは置いて、1回聴いて下さい。文字通り「夢中」になります。トリップ。
- The Dø / Shake Shock Shaken / フランス
あまり日本では知られていない気がする The Dø (ザ・ドゥ) ですが、このアルバムは色んな人にオススメできる名盤です。聴きやすいカッコいいし踊れます。
- motorama / Alps / ロシア
個人的に「ロシアのロックは暗い」という偏見があります。こちららも多分に漏れず暗いのですが、ポストパンク的な疾走感と冬の空気が響くような音が印象的です。

spotify 等の配信サービスでも聴けますので、よければ聴いてみて下さい。え？チョイスが偏りすぎ？そこは私の好みなので、よしなに。

TKC 僕と競馬系 YouTube

海外 GI レースで日本馬が普通に活躍する今日この頃、競馬に関するコンテンツが増えて嬉しい限りです。そんな訳で今回は競馬に関する YouTube を個人的に簡単に紹介したいと思います。競馬に興味のある方も無い方も、一度ご視聴していただければ幸いです。

「JRA 公式チャンネル」
過去の重賞レースや競馬関係者のインタビューなどを見ることが出来ますが、一番は JRA 公式しかできない唯一の動画「ジョッキーカメラ映像」です。レース中の馬からの騎手目線で見る事が出来るジョッキーカメラの映像はゴール前後の騎手の声や会場の歓声もあり、迫力と臨場感がすごいです。これを考えた人はすばらしいと思いました。

「ウマキング」
競馬系 YouTube で登録者がたぶん一番多いチャンネルだと思えます。競馬の収支もすごいのですが、帯とされている 100 万円を超える中が多く、なかでもメインレースの全頭診断は各馬の特徴を解説しており、勉強になります。

「競パンライフ (競馬しながらキャンピングカー生活)」
競馬 × キャンピングカー生活 × 旅という私的には夢のようなことをされており、自分には真似できない事をしてるので、お酒片手になんとなく見ちゃいます。

他にもたくさんありますが、馬券の予想になんとなく競馬系 YouTube を見てしまうと限りなく関連動画を見てしまい、ただただ時間泥棒に遭うのは YouTube あるあるですね。

私は、先日とある動画の予想に全乗っかりして大敗して涙目だったので、皆さんは泣かない程度に自己責任をお願いします。

ちなみに今年、私の推してる馬は「シンエンペラー (牡) 4 歳」です。